

第 6 回巨大津波災害に関する合同研究集会にて研究発表を行ないました (2016/12/8-9)

テーマ：災害科学，津波災害，津波工学

場所：関西大学梅田キャンパス 8 階ホール（大阪府大阪市）

12 月 8 日(木)～9 日(金)の 2 日間，関西大学梅田キャンパス（大阪府大阪市）にて，第 6 回巨大津波災害に関する合同研究集会が開催されました。本研究集会は，津波災害に関する研究に取り組む，様々な分野の研究者や学生による学術的な交流を通じて，津波研究の発展と防災・減災に資することを目指して，2011 年から毎年開催されています。

第 6 回となる本研究集会は，関西大学社会安全学部主催で開催され，津波の現象理解，津波即時予測や避難行動に関する研究など 33 件の研究発表がなされ，活発な議論が展開されました。本研究所から今村文彦教授（所長・災害リスク研究部門），サッパシー・アナワット准教授，リーラワット・ナット助教（以上，災害リスク研究部門），山下啓助教，林晃大助手（以上，寄附研究部門）が登壇し発表しました。また，サッパシー・アナワット准教授，山下啓助教は併せてセッションの座長も務めました。

各発表者の講演題目等は次の通りです：

- ✓ ○今村文彦，災害リスク研究部門津波工学研究分野，地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門：2016 年福島県沖地震津波の現地調査及び数値解析
- ✓ ○大竹拓郎，サッパシー・アナワット，今村文彦：過去 400 年間データに基づくグローバル津波ハザード評価
- ✓ ○馬場亮太，佐藤翔輔，今村文彦：住まいの再建のための復興情報に対する受け手の評価に関する調査 一宮城県の被災者を対象として
- ✓ ○牧野嶋文泰，今村文彦，安倍祥：マルチシナリオ津波避難シミュレーションに基づく都市避難安全性の評価手法
- ✓ ○Natt Leelawat，Anawat Suppasri，Panon Latcharote，Yoshi Abe，Kazuya Sugiyasu，Fumihiko Imamura：Tsunami Evacuation Drill: An Experimental Study on the Use of Mobile Application Prototype
- ✓ ○福井謙太郎，サッパシー・アナワット，山下啓，今村文彦：東日本大震災による養殖筏，アマモ場の被害関数の構築
- ✓ ○林晃大，山下啓，今村文彦：東日本大震災に建物被害実績と海岸林分布状況の関係性に関する検討
- ✓ ○サッパシー・アナワット，パーノン・ラチャラット，遠田晋次，今村文彦，他：Tsunami Hazard Assessment for the Arabian Gulf from Earthquakes and Surface Landslides
- ✓ ○山下啓，今村文彦，他：津波氾濫・土砂移動・漂流物移動の統合シミュレーション 一複合的なハザード拡大のシナリオ

（発表順，発表者と研究所構成員のみ記載。発表者には○を付し，研究所構成員には下線を付す。）

なお，第 7 回は東北大学災害科学国際研究所での開催を予定しております。



今村文彦教授



討議の様子

文責：林晃大，山下啓（寄附研究部門）

サッパシー・アナワット准教授，リーラワット・ナット助教（災害リスク研究部門）